

厚生労働省 平成21年度 障害者保健福祉推進事業（障害者自立支援調査研究プロジェクト）  
社団法人日本精神神経科診療所協会

## 1. 事業実施計画

事業名 「精神科診療所における相談支援のあり方に関する研究」

事業実施予定期間 「平成21年 4月 1日 から 平成22年 3月31日 まで」

事業の具体的内容

H20年度事業で作成した、日本精神神経科診療所協会版ケアマネジメントモデルを用いて、全国でケアマネジメントを実践することを通し、その有効性の評価指標やモニタリングの指標を確立し、より一層効果的な相談支援を実施する方法を開発する。また、ケアマネージャの質を向上させるために必要な研修のあり方について検討する。

事業の効果及び活用方法

医療・福祉共通のケアマネジメントツールの開発が可能となる。そのことによって、医療と福祉の連携をより一層強め、現状では支援の網の目をすり抜けてしまう事例への支援も可能となる。地域における重層的な相談支援体制の構築をはかることができる。

## 2. 調査事業計画書

調査名 「精神科診療所における相談支援のあり方に関する研究」

調査対象地区 全国約100ヶ所の精神科診療所

調査対象者等 当該診療所のケアマネジメント従事者。

利用者からのフィードバックも求める。

悉皆・抽出の別

日本精神神経科診療所協会会員で、PSWなどを配置し相談支援業務を行える体制を有している診療所の中から約100ヶ所を抽出し、日精診ケアマネジメント推進委員会で決定する。

調査方法

日精診基礎調査によると、PSWを配置している診療所は会員1500名の26%である。日本精神神経科診療所協会会員で、PSWなどを配置し相談支援業務を行える体制を有している診療所の中から約100ヶ所を抽出し、全国研修会を行う。それを踏まえて、各診療所で概ね2事例のケアマネジメントを実施する。その後、全国を7ブロックに分けて、ブロック別の実践検討会を実施する。

その事例を集め報告会を行い、その内容を精査解析する。

ケアマネジメント従事者へのアンケート調査を行うとともに、一部ケアマネジメント従事者への聞き取り調査も行う。原則的に利用者からのフィードバックを受ける。

以上をまとめて、H20年度事業で作成したケアマネジメントモデルの有効性の評価指標やモニタリングの指標を確立し、より一層効果的な相談支援を実施する方法を開発する。

調査客体数 全国100ヶ所の精神科診療所で、ケアマネジメントを実施する。

調査内容

日本精神神経科診療所協会会員の中から相談支援業務を行える体制を有している診療所を約100ヶ所を抽出

し、全国研修会を行う。それを踏まえて、各診療所で概ね2事例のケアマネジメントを実施する。その後、全国を7ブロックに分けて、ブロック別の実践検討会を実施する。

その事例を集め報告会を行い、その内容を精査解析する。

ケアマネジメント従事者へのアンケート調査を行うとともに、一部ケアマネジメント従事者への聞き取り調査も行う。

原則的に利用者からのフィードバックを受ける。

以上をまとめて、H20年度事業で作成したケアマネジメントモデルの有効性の評価指標やモニタリングの指標を確立し、より一層効果的な相談支援を実施する方法を開発する。また、ケアマネージャの質を向上させるために必要な研修のあり方について検討する。

得られた有効性の評価指標やモニタリングの指標をもとに、出来れば無作為抽出により統制郡を設け、次年度も引き続いて有効性妥当性の検討を継続したい。

調査時期 H21年4月1日からH22年3月31日

調査結果の活用法

医療・福祉共通のケアマネジメントツールの開発が可能となる。そのことによって、医療と福祉の連携をより一層強め、現状では支援の網の目をすり抜けてしまう事例への支援も可能となる。地域における重層的な相談支援体制の構築をはかることができる。

その他参考事項 H20年度障害者自立支援調査研究プロジェクトの継続事業である。